

愛知民報

2015年
2月1日
第2244号

発行所 愛知民報社
〒460-0007 名古屋市中区新栄三丁目 12 番 25 号
愛知あかつき会館内
☎(052)251-2925 FAX(052)261-6063
定価 月 400 円 郵送料 164 円 1 部 100 円
毎週日曜日発行 (第 5 日曜日は休刊)
1966 年 7 月 31 日第三種郵便物認可

週刊

愛知民報を
周りの人に

オール与党 対 日本共産党

激戦の知事選で浮き彫り



愛知県知事選挙
小松たみこ候補

行政から変える

愛知県政の大問題

愛知県知事選挙は2月1日投票。日本共産党が推薦する小松たみこ知事候補は、安倍政権と大村県政の暴走ストッパ、暮らし・福祉・平和第一の県政実現を訴え、共感と支持を広げています。論戦をつうじて、現職の大村秀章候補がオール与党体制でめざす県政の問題点が浮き彫りになってきました。

安倍政権と一体化

「土下座よりいい」

前回の知事選で、大村候補は自民を離れ、第3極の看板で当選しました。ところが、自民党政権が復活すると自民党に接近。河村名古屋市長との共通公約「県民税10%減税」は実施せず、事業凍結中の設楽ダムの建設を容認しました。

大村知事の公共事業バラマキ予算に、自民党から「ほぼ満額」の回答「土下座を100回してもうらやましい」「(毎日)の声があるべきだ」。

知事選出陣式で、自民党県連代表は、安倍首相と大村知事が会談し「大いに盛り上がった」と紹介。大村候補は、県民の暮らしと平和を壊す安倍政権の暴走に口をつぐんでいます。

暴走する大企業優遇

愛知版アベノミクス

今回の大村知事の看板公約は「リニア・ジェット・FCV(燃料電池車)」。JR東海、三菱重工、トヨタ自動車の大型事業に、県の血税と人材を提供するアベノミクスの愛知版です。

自ラリニア建設促進期成同盟会の会長に座り、副知事にトヨタ重役を迎え、三菱には工場拡張用に県有地を譲渡。一方、農業など愛知の地域経済を破壊するTPP参加を推進する立場です。

大村知事は「雇用拡大」の成果を強調しますが、増えたのは非正規雇用。正規雇用は減っています。このままでは愛知県庁が特定大企業の下請け機関にされる」という批判がでています。

オール与党県議会

「相乗り」で利権維持

大村知事を推せんする自民、民主、公明、減税は県議会のオール与党。大村知事の医療費無料制度有料化計画に同意し、市町村国民健康保険への県独自補助の廃止に賛成しました。

オール与党は、県民が県議会に提出しようとする消費税増税反対や福祉・教育充実の請願の紹介を拒否。このため、県議会への請願件数が激減しています。

県民の願いを退ける一方で、自民・民主・公明・減税県議の政務調査費不正が横行。日本共産党議員不在のオール与党県議会は利権共同体になっています。

日本共産党の県議空白克服は県議会改革の力ギになっています。

議会から変える日本共産党県議選予定候補者

- 

名古屋市北区 (定数2)
すやま初美
- 

名古屋市西区 (定数2)
わしの恵子
- 

名古屋市緑区 (定数3)
みつなか
満仲みゆき
- 

一宮市区 (定数5)
いたくら正文
- 

春日井市区 (定数4)
柳沢けさみ
- 

豊橋市区 (定数5)
しもおく奈歩